

青柳中学校 校内研究

1 研究主題

できる・わかる授業の創造 ～学び合い、探究する生徒をめざして～

2 研究の柱

学び合い（ペア・グループ）学習を通じて学力の向上を図る。

- 主体的対話的な活動から、知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力を育成する。
- 授業を通じて、生徒同士の関係づくりに取り組み、自分自身や他者の良さにも気づき、思いやりをもって関わる生徒を育成し、集団を高めていく。

3 授業改善

(1) 青柳スタンダードプラン・単元計画表の作成

(2) 「学び合い」のある授業づくり

- 「学び合い」のある授業づくりに向けて全校研究授業等を通して、改善を行いながら進めていく。
- 日常の授業研究を通じて、授業の中でペアやグループ活動を効果的に取り入れながら、適切な課題や生徒同士の学びを支援する手立てを研究する。
- 授業を通じて、生徒同士の仲間づくりに取り組む。
- 全校生徒に対して年度初めに学習会を実施。

(3) 校内研修

- 全教員による研究授業を実施する。
- 外部講師を招聘し、指導・助言をいただき、取組を推進する。（年5回招聘）
- 自主公開授業研究会を実施する。
- 各アンケートにより分析を行う。

※授業評価アンケート（前期7月・後期12月実施）

※家庭学習アンケート（毎学期）

※学校評価アンケート（11月実施）

※研究アンケート（教職員対象・12～1月実施）

4 その他学力向上に向けての取り組み

(1) アーリーワーク

【内容】授業開始1分前に生徒は着席し、教員の指示により学習に取り組む。

【目的】落ち着いて授業開始を迎えるため。

(2) 必勝スタディ

【内容】帰りの会の後、10分間、学習に取り組む（月：国、火：英、水：社、木：理、金：数）

【目的】基礎基本の定着を図るため。落ち着いて一日を終えるため。